平成24年7月3日
苫小牧ガス株式会社

計画停電における弊社の対応ならびにお客さまへのお願いについて

弊社の苫小牧地区で計画停電が実施された際の対応ならびにお客さまへのお願いについて、下記の通りお知らせいたします。

お客さまにおかれましては、大変ご不便をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。何卒、ご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

記

1．　製造・供給設備、保安業務について
ガスの供給・保安業務を継続しております。

2．　ガス機器について
ガス機器の中には、100V 電源などを使用している機器もあることから、停電によりご使用いただけない機器がございます。

3．　ガス機器のご使用の注意について
計画停電中は換気扇・警報器が作動しない場合や夜間はガス機器がよく見えず操作を誤る場合などありますので、ご使用には十分ご注意ください。

4．　お客さまサービス業務について
ガスの開閉栓業務・機器の修理業務・ガス設備調査など、お客さまサービス業務につきまして、停電の影響から一部、お伺いできない場合がございます。

以上

《お問い合わせ先》

1．製造・供給設備、保安業務	工務部	TEL　32-5384
2．3．ガス機器4．お客さまサービス業務	営業部	TEL　32-5383

計画停電等に対するガス設備　使用上のご注意

この度、苫小牧ガスでは、計画停電等、万が一停電が発生した際のガス設備ご使用上の注意事項をご説明させていただきます。設置設備のご確認と取扱説明書、メーカ仕様書等をご確認いただけますようお願いいたします。

吸収冷温水機ご使用上の注意

計画停電実施時

停電が発生する30分程度前に吸収冷温水機の停止措置を実施してください。希釈運転した後、停止します。
希釈運転を行わないと濃い吸収液が本体内部で結晶を生じ、次回運転が正常にできない場合があります。

復電後について

通常通りの運転措置を実施してください。

厨房機器・工業炉ご使用上の注意

計画停電実施時

停電前に停止措置を実施頂くことを推奨致します。また、その際は器具ガス栓・元バルブをお閉めください。

復電後について

換気扇等が正常に作動することを確認してから、通常通りの運転措置を実施してください。

特記事項

●商用電源を使用しない機器（電気を使用しない機器又は、電池のみを使用する機器）については使用することができますが、換気扇等の停止により、適正な給排気が取れない場合のご使用はお控えください。

ボイラご使用上の注意

計画停電実施時

停電前にボイラ等設備の停止措置を実施頂くことを推奨致します。

復電後について

通常通りの運転措置を実施してください。

※停電により、軟水器タイマーの設定等に影響がある場合がございます。復電後、ご確認頂くことを推奨致します。

ガスヒートポンプご使用上の注意

計画停電実施時

停電前にリモコンで停止措置を実施頂くことを推奨致します。

復電後について

通常通りの運転措置を実施してください。
ガスヒートポンプについては、室外機と室内機の通信を確立するのに、リモコンスイッチを押してから、長くて30分程度必要な場合があります。

特記事項

●リモコンスイッチを押して30分たっても起動しない場合は、故障の可能性がありますのでその場合は以下にご連絡ください。
ご連絡先：営業部　32-5383

緊急ガス遮断装置操作上の注意

計画停電実施時

遠隔遮断機能付緊急ガス遮断装置は、停電中にも遠隔遮断できるようバッテリーを内蔵しています。
しかし、長時間（長期間）停電すると、バッテリーが放電し、緊急時に遠隔遮断ができなくなる可能性があります。遠隔遮断できない場合は、手動にて元バルブを閉止してください。

復電後について

【緊急ガス遮断装置を遮断していない場合】
通常通り、遠隔遮断機能は利用可能です。
【緊急ガス遮断装置を遮断した場合】
開操作には弊社社員の点検が必要なため以下にご連絡ください。
ご連絡先：工務部　32-5384

業務用自動ガス遮断装置操作上の注意

計画停電実施時

商用電源を使用しているため、手動による作動及び、ガス警報器やダクト消化等と連動されている場合も開閉機能を使用することが出来ません。

復電後について

通常通り使用可能となります。

ご　連　絡　先　　：営業部　32-5383
ガス漏れ専用電話：工務部　32-5384

計画停電等に対するコージェネ設備（CGS）使用上のご注意

この度、苫小牧ガスでは、北海道電力㈱様の電力不足の影響による計画停電の実施に伴い、コージェネ設備への対応・注意事項をご説明させていただきます。今一度、設置設備のご確認とメーカ仕様書等ご確認いただきますようお願いいたします。

■停電対応機能のないCGSの場合

計画停電実施時

停電前に停止措置を実施頂くことを推奨致します。

復電後について

通常通りの運転措置を実施してください。

■停電時起動可能なCGSの場合

計画停電実施時

停電前に停止措置を実施してください。
停電後、停電時の運転措置を実施し、給電が必要な負荷を順次投入ください。

復電後について

給電中の負荷を切離してからＣＧＳを停止してください。詳しくは「停電時操作手順書」に従って運転ください。

■停電時無負荷待機するCGSの場合

計画停電実施時

【重要負荷に給電しない場合】
停電前に停止措置を実施頂くことを推奨致します。
【重要負荷に給電する場合】
停電前に自立運転に移行してください。給電が必要な負荷を順次投入下さい。

運転中に停電した場合

自動で自立運転（無負荷）に移行します。
【重要負荷に給電しない場合】
停止措置を実施いただくことを推奨致します。
【重要負荷に給電する場合】
給電が必要な負荷を順次投入ください。

復電後について

【重要負荷に給電しなかった場合（停止中）】
通常通りの運転措置を実施してください。
【重要負荷に給電した場合（自立運転中）】
給電中の負荷を切離してから停止措置を実施ください。その後、通常通りの運転措置をしてください。

■停電時有負荷待機するCGSの場合

計画停電実施時

停電前に連絡遮断器を開放してＣＧＳを自立運転モード（有負荷）へ移行下さい。
自立運転中に給電する負荷は、変動時に定格出力を超えないよう選択し、出来るだけ負荷の発停は控えていただきますようお願いします。

運転中に停電した場合

ＣＧＳは停電を検出し自動的に自立運転モード（有負荷）に移行します。自立運転中は負荷の発停は出来るだけ控えていただきますようお願いします。

復電後について

連絡遮断器の再同期操作をお願いします。
（設備仕様により、自動で再同期するものもあります）

※停電対応型ジェネライト（9.9kw/25kw/35kw）をご使用のお客様

停電対応型ジェネライトは、無負荷待機機能を有しています。
停電後、自動で重要負荷に対して給電を再開します。
復電後、リモコンもしくは、電源ボタンにより再起動を行ってください。
（設備仕様により、自動再連係するものもあります）

上記記載内容は標準的な内容となっておりますので、実際の運転においては取扱説明書、操作手順書の確認をお願い致します。

営業部
ＴＥＬ：32-5383

ガス漏れ専用電話：32-5384